

様式

技術名称	MAGAR工法 (自在ボーリングによる薬液注入工法)	技術の分類	工法	NETIS登録の有無 (有場合はNETIS番号)	平成24年8月頃 関東地整に申請予定
会社名等	前田建設工業株式会社	担当者	土木設計・技術部 山内 崇寛	連絡先	03-5217-9563 yamauchi.tak@jcity.maeda.co.jp
技術の概要	MAGAR工法は、従来の直線ボーリングでは届かない既設構造物直下等の耐震補強(液状化対策)のための地盤改良(薬液注入)を行うことを目的とした工法です。靱性のあるロッドと最新の位置検知システムを用いた施工により、従来工法の最大スペックを満足した3次元曲線削孔が可能です。また、下記に示す特徴により、従来工法に比して「品質向上」「コストダウン」「工期短縮」「環境負荷の低減」を実現します。	添付資料	パンフの有無	有	
			その他の資料		
技術の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>①従来工法の最大スペックである削孔延長(L)150m、最小曲率半径(R)30mの3次元曲線削孔が可能です。</li> <li>②最新の位置検知システムを用いた施工により高精度(削孔精度L/300かつ±30cm)な施工が可能です。</li> <li>③薬液注入工は注入管リサイクル方式を採用することで、地中に注入管を残すことなく改良体を造成することが出来ます。</li> <li>④削孔箇所から工法に約10mの施工ヤードで施工可能</li> <li>⑤改良対象範囲は原則地下水位以下</li> <li>⑥対象地盤は、基本的にN≤20の砂質土またはシルト(専用のツールスを保有しており、N&gt;20の砂質土や礫径30mm程度の礫質土にも対応可能)</li> </ul>	その他	特許:特願2010-093622 他4件		